

## 事業計画書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 spring

1 事業種別	行政提案型・自由提案型
※行政提案型 事業テーマ	(事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入) 創造力を育む 文化芸術の薫り高い宝塚をめざして ～文化芸術都市にふさわしい 市民が主役のまちづくり～
2 事業名	誰もが主役 宝塚で輝けるドレス体験を
3 事業を行おうとした動機・必要性	<p>本事業は、美容師から聞いた「障がいのある方が成人式で着物を着たくても、費用面の理由で諦めている」という声をきっかけに着想したものです。本来、成人式など人生の節目における晴れ姿は、誰もが平等に経験できる文化的機会ですが、実際には衣装準備や着付け、写真撮影等の費用負担や家庭環境等の影響により、その機会を得られない方が存在しています。特に障がいのある方は、外出機会や地域との接点が限られやすく、自己表現や社会参加の機会が不足している現状です。</p> <p>こうした課題は、自己肯定感の低下や社会的孤立につながる可能性があり、地域における多様性の理解および共生社会の実現に向けた重要な課題です。本事業は、これらの課題に対し、これまで滋賀県および大阪府で実施してきた実績を踏まえ、地域住民やボランティア等の多様な主体の参画による交流の創出と相互理解の促進をさらに発展させるものです。</p> <p>また本事業は、「創造力を育む文化芸術の薫り高きまちづくり 文化芸術都市にふさわしい市民主体のまちづくり」というテーマに基づき、舞台芸術を通じて市民一人ひとりが表現者となる機会を創出するものです。舞踊家や元タカラジェンヌの協力のもと、障がいのある方をはじめ多様な市民がドレスを着用し舞台に立つことで、「鑑賞者」にとどまらない「創り手としての参加」を実現します。</p> <p>具体的には、市内の教室講師や地域住民にも参画いただき、ベリーダンスやタップダンス、能&amp;日本舞踊など多様な舞台表現を取り入れた参加型ステージとして構成します。</p> <p>事業は、ステージ当日のみならず、約2か月前からの制作活動(髪飾り制作や舞台メイク練習)を通じて参加者同士の交流を深めます。さらに、終了後にはビデオ鑑賞会を実施し、継続的な関係性の構築につなげます。これにより、文化芸術を媒介としたコミュニティ形成を促進します。</p> <p>本事業の特徴は、障がいのある方が「主役」としてスポットライトを浴びる体験を得られる点です。この体験は、自己肯定感の向上および社会参加の促進、地域住民との「顔の見える関係性」を構築するものです。この関係性は、平時のみならず災害時等の非常時における共助体制の基盤としても重要です。</p> <p>さらに、元タカラジェンヌとの共演という地域に根ざした文化的特性を活かすことで、本市の特色ある舞台芸術文化の魅力発信にもつながります。</p> <p>以上のことから、本事業は個人の福祉向上にとどまらず、市民主体による文化芸術活動の推進、多様な人々の参加による地域文化の創出、さらには地域コミュニティの活性化および共生社会の実現に資する公益性がある取り組みと考えております。</p> <p>ドレスを着用した障がいのある方が、元タカラジェンヌの方と一緒にステージに出演 ・市内で教室を行っている先生方に声をかけ、舞台と一緒に創り上げる参加型イベント ・タップダンス、能&amp;日本舞踊など、多様なジャンルのパフォーマンスで舞台を構成</p>

【ステージ前の集まり】(9月)

- 舞台で使用する髪飾りなどの制作活動
- 宝塚風の舞台メイクの練習
- 障がいのある方・一般の方が一緒に参加し、交流を深める機会

【ステージ当日】(11月7日(土))

- 参加者全員で舞台発表・披露

【ステージ後の集まり】(3月)

- 当日の映像のビデオ鑑賞会を実施
- 参加者同士が再会し、交流を深める場を提供
- 小物制作指導者による展示即売会(手作り商品の販売)及び就労支援利用者(障害者の方)の手作り製品販売

4 事業を行う目的と期待される効果

※審査基準のうち「効果の広域性」「独創性」「継続性」が判断できる内容を含めて記載してください。

■効果の広域性

本事業は、「創造力を育む文化芸術の薫り高い宝塚をめざして～文化芸術都市にふさわしい市民が主役のまちづくり～」というテーマのもと、市民一人ひとりが主体となる文化芸術活動の広がりを創出するものです。障がいのある方を中心に据えつつも、地域住民、文化芸術関係者、ボランティア、教室講師など多様な主体が参画することで、特定の層にとどまらない波及効果を生み出します。

舞台発表や制作活動、鑑賞会を通じて、参加者同士のみならず、その家族や来場者へと交流の輪が広がり、地域全体における文化芸術への関心の醸成と、多様性への理解促進につながります。さらに、本事業は他地域での実施実績を踏まえて展開されるものであり、本市における取り組みが今後のモデルケースとなることで、文化芸術を軸とした共生社会の実現に向けた広域的な波及が期待されます。

■独創性

本事業の独創性は、市民一人ひとりが「主役」となり、舞台芸術の創り手として参加する点にあります。特に、障がいのある方がドレスを着用し、元タカラジェンヌとともに舞台に立つという構成は、文化芸術都市・宝塚ならではの特色を活かした象徴的な取り組みです。従来の「鑑賞中心」の文化芸術ではなく、「参加・創造・表現」を重視することで、新たな文化芸術の在り方を提示しています。

また、タップダンスやベリーダンス、能・日本舞踊といった多様なジャンルを融合した参加型ステージに加え、事前の髪飾り制作や舞台メイク練習、事後の鑑賞会までを一体的に設計することで、単なるイベントにとどまらない「創造のプロセス」そのものを事業化している点も特徴です。文化芸術を通じて市民の創造力を引き出し、主体的な関わりを促す独自性ある取り組みです。

■継続性

本事業は、制作活動・舞台発表・鑑賞会を通じて参加者同士の交流を継続的に育み、鑑賞会などを重ねることで関係性や参加の輪が徐々に広がっていく仕組みを有します。地域の講師やボランティアの参画により人的ネットワークが蓄積され、次年度以降の継続実施や参加者の拡大にもつながります。

こうした「顔の見える関係性」は、日常のつながりだけでなく、防災時などの非常時における助け合いにも活かされます。

## 5 申請までの検討経過

- 令和7年11月 障がいのある方の誕生日に合わせて、着物およびドレスの撮影会を実施しました。あわせて、今後の活動の方向性について意見交換を行いました。
- 令和8年4月 「きずなづくり推進事業」の存在を知り、本事業の趣旨と、地域のイメージと障がいのある方を結びつける取組が親和性を持つのではないかと考え、具体的な検討を開始しました。その後、宝塚市文化政策課へ相談を行い、事業化に向けた助言を受けました。
- 令和8年4月 宝塚文化創造館館長と打ち合わせを行い、会場の活用や事業実施に向けた具体的な内容について協議を行いました。

## 6 事業の内容

### ■企画概要

障碍のある方にドレスを着ていただき、元タカラジェンヌのエスコートのもと舞台上で披露するイベントを開催します。地域の教室や団体とも連携し、多様なパフォーマンスで舞台を盛り上げ、誰もが参加し楽しめる交流の場を創出します。

### ■舞台イベント（11月予定）

- 障碍のある方がドレスでのステージ披露
- 元タカラジェンヌによるエスコート、歌
- 地域教室・団体による出演（依頼予定）
  - ベリーダンス
  - タップダンス
  - バルーンアート
  - オカリナ演奏
  - 外国人の語りか舞踊
  - 能&日本舞踊

### ■関連企画（舞台前 9月予定）

#### ワークショップ・制作体験（各施設内かぶさこむ1）

- 髪飾り・小物制作（ドレスに合わせたもの）
- 工房形式で参加者募集（障害者施設＋一般参加可）
- 工房参加者のコミュニケーションの場として活用

### ■関連企画（舞台後 '27年3月予定）

#### 舞台後の交流会（ピピアめふ）

- 舞台映像の上映・鑑賞
- 感想共有・意見交換（振り返り）
- 参加者同士の交流・絆づくり
- 小物制作指導者による展示即売会（手作り商品の販売）及び就労支援利用者（障碍者の方）の手作り製品販売等

7 市の担当課との事前協議の経過（事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入）
<p>4月15日（水）10時より、市役所文化政策課にて事業相談を行い、本事業がテーマに沿っているかについて確認を受けました。</p> <p>4月21日（火）事業内容の詳細について文化政策課担当者に確認いただき、方向性について助言を得ました。</p> <p>4月27日（月）再度文化政策課担当者に内容を確認いただき、事業計画の助言を得ました。</p> <p>4月30日（木）必要書類を提出しました。</p>

8 実施する安全対策
------------

<p>本事業の実施にあたり、参加者の安全確保を最優先とし、以下の対策を講じる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>保険加入</b> 活動中の事故やケガに備え、ボランティアスタッフ全員を対象にボランティア保険へ加入する。</li> <li>2. <b>人的配置の強化</b> 障がいのある参加者1名に対し、原則として2名以上のスタッフ（ボランティア）を配置し、移動・着替え・撮影時の安全確保および介助を行う。</li> <li>3. <b>事前確認の実施</b> 参加者の体調や特性、配慮事項について事前に確認し、無理のないプログラム運営を行う。</li> <li>4. <b>安全な環境整備</b> 会場内の段差・動線を事前に確認し、転倒防止等の安全対策を講じる。</li> <li>5. <b>緊急時対応体制の整備</b> 緊急連絡先の共有、応急対応が可能なスタッフの配置等、万が一の事態に備えた体制を整える。</li> </ol>
---